

選挙公報掲載文

※受付日時	月	日	時	分
-------	---	---	---	---

注意

一、氏名欄に記載し、又は記録する候補者の氏名は、当該選挙の選挙長の認定した通称があるときは、その通称を記載し、又は記録すること。
二、※印の欄については、候補者は記載しない、又は記録しないこと。

主な略歴		
◆経歴	◆学歴	◆生年月日
昭和61年4月 平成13年1月	東京大学経済学部卒 自治省入省 総務省自治財政局	昭和39年3月26日生
平成18年12月	福島県企画調整部長 福島県副知事（1期）	平成13年4月 平成14年4月 平成16年4月 平成18年12月
令和4年11月	福島県副知事（2期） 福島県知事（2期） 福島県知事（3期）	平成22年12月 平成26年11月 平成30年11月

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる ふくしまを共に創り、つなぐ

働きたいしごとがあるふくしまを創る！

5 中小企業振興と新産業の創出・集積を進める！

- 中小企業等の生産・経営基盤の強化やAI活用、働き方の変革を支え魅力を高めます
- 自動車関連、再エネ、医療、ロボット、航空宇宙等産業の強みを活かします
- 福島イノベーション・コースト構想を身近な実感につなげ、更にシンカさせます

6 強くてもうかる農林水産業を創る！

- 園芸団地等産地の大規模化、風評に負けない農林水産物のブランド化を進めます
- 高付加価値生産、多様な農業担い手の確保、スマート農業を推進します
- 農林水産業の多面的機能に着目した取組を推進します



7 環境と調和。「ふくしまならではの」観光・交流を進める！

- ふくしまSDGs、福島2050カーボンニュートラル、水素社会を推進します
- 自然や文化、食、サイクリング環境など魅力を生かした観光を国内外に発信します
- 主に首都圏を対象とした交流拡大・移住・定住・Uターン、副業活動を推進します



8 地域を結ぶ社会基盤の整備を促進する！

- 基幹的な道路の整備や地域連携道路、復興を支える道路等の整備を促進します
- 小名浜港、相馬港、福島空港の利活用を促進します
- 鉄道や地域の足の利便性向上や利活用、情報通信インフラの整備に取り組みます

震災・原子力災害からの復興と人口減少対策への挑戦。
「ふくしまプライド。」で二歩、一歩、前へ！

ひとを大切にするふくしまを創る！

1 全国に誇れる子育て・教育環境を創る！

- 出会い・結婚、妊娠・出産の希望をみんなで支える「子育て県」を創ります
- 「学びの変革」を進め一人一人の子どもの資質・能力を育みます
- “ふくしまならではの”を生かした学びで子どもたち一人一人の「誇り」を育みます



2 誰もがいきいきと暮らし、住みたくなる社会を創る！

- 誰もが自分らしく生活し人権が守られ個性と能力を発揮できる社会を創ります
- 安心の医療・福祉で支えスポーツや文化を楽しみ暮らせる健康長寿県を創ります
- ふくしまの暮らしを発信し、ご縁を深め新しい人の流れを確かなものとしします

安心・快適な暮らしのあるふくしまを創る！

3 原子力災害からの復興・再生を進める！

- 避難地域の生業・営農等の再生・再開と経営支援、暮らしの向上に取り組みます
- 被災の地から希望の地へ向け魅力を更に高め交流や移住・定住を促進します
- 廃炉・汚染水・処理水等原子力災害の課題には国・東京電力に厳正に対処します



4 環境にも配慮した安全・安心で活力ある社会を創る！

- 自然災害、有害鳥獣、新型感染症などから県民の命と暮らし・経済を守ります
- 環境や地域の特性にも配慮した安心・快適な生活環境の維持・確保を進めます
- 人口減少、物価高騰、食料安保、AI変革等の情勢変化に対応し県民生活を守ります

みんなで創る
ふくしまの未来。

私の決意

福島県が誕生して150年。その足跡は逆境と挑戦の連続でした。私たちが直面している震災と原発事故という逆境は、この15年半に渡る挑戦で着実に復興へと向かっています。一方、急速な人口減少、相次ぐ自然災害、物価高騰などの逆風が私たちの暮らしに影を落としています。私は挑戦を続けます。浜・中・会津のオールふくしまで、先人たちから受け継いだ「ふくしまプライド。」を胸に、一歩、一歩、未来を切り拓いてまいります。

無所属
内堀まさお
62才

候補者氏名	
連絡の場所及び電話番号	